

くすりのしおり

内服剤

2017年03月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ケフラールカプセル 250mg

主成分：セファクロル (Cefaclor)

剤形：青色/白色のカプセル剤、長径 17.9mm

シート記載：（表）ケフラール 250mg、（裏）KEFRAL 250mg ケフラール 250mg 3061



この薬の作用と効果について

セフェム系の抗生物質で、細菌の細胞壁合成を阻害することにより抗菌作用を示します。

通常、皮膚科領域、外科領域、呼吸器、尿路、眼科領域、耳鼻科領域、歯科・口腔外科領域など広い範囲の感染症の治療に使用されます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人および体重 20kg 以上の小児は、1 回 1 カプセル〔主成分として 250mg（力価）〕を 1 日 3 回服用しますが、重症などの場合は 1 回 2 カプセル〔500mg（力価）〕を 1 日 3 回服用します。年齢・体重・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたときにすぐに飲んでください。あとは指示どおりの時間に飲んでください。絶対に 2 回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・授乳中の方は、この薬を飲んでいる間は授乳を避けてください。
- ・尿糖検査などに影響を与えることがあります。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、蕁麻疹、紅斑、かゆみ、発熱、リンパ腺腫脹、関節痛、貧血、黄疸、吐き気、下痢、腹痛などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・息苦しい、全身の発赤、眼や口唇のまわりのはれ [ショック、アナフィラキシー]
- ・むくみ、倦怠感、尿量が減るまたは尿が出ない [急性腎不全]
- ・動悸や息切れ、発熱、のどの痛み、歯ぐきの出血 [汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少]
- ・高熱、水ぶくれ、眼や口など粘膜のただれ、全身の発赤 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群]
- ・発熱、から咳、息苦しい [間質性肺炎、PIE 症候群]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。